

鳥の劇場通信

鳥の劇場は、鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった小学校と幼稚園を劇場に変えて、2006年から演劇活動をしています。鳥の劇場という名前は、劇団名でもあり場の名前でもあります。劇場がただ演劇を愛好する人だけの場ではなくて、広く地域のみなさんに必要だと思ってもらえる場となるのが、私たちの目標です。演劇制作を中心にすえて、国内・海外の優れた舞台作品の招聘、舞台芸術家との交流、他芸術ジャンルとの交流、教育普及活動などを行い、地域の発展に少しでも貢献したいと考えています。チケットの売上、サポーターの方のご寄付、各種助成金、地元の方のご協力などにより活動が支えられています。

2012年度の活動テーマ

「劇場にできること—ここで生きる人たちのために、これから生きる人たちのために」

高齢化が進み、人口が減るばかりのこの場所で、演劇を通じてつながる多くの仲間と、そして応援してくれるたくさんの人たちと連帯し、欧米のモノマネではないここにしかない鳥取の劇場を発明したいと考えています。効率が求められ、どうにも息苦しい日常の中で、しかし私たちの身体も魂も、誰はばかるとなく圧倒的に自由なのだ実感できる場所。隣の席に座った初めて会う全然年上や全然年下の人を、荒波を共に乗り越えて行く同じ船の仲間なのだ感じられる場所。それが私の願う劇場です。少しずつ学びながら、試みながら進みます。

鳥の劇場芸術監督 中島諒人

近々の上演予定

2012年6月23日	【わが町】神戸公演[第17回日本緩和医療学会学術大会招聘作品]
2012年6月29日～7月1日	【わが町】(作:ソートン・ワイルダー)
2012年8月4日	【赤いろうそくと人魚】越後妻有公演[大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012招聘作品]
2012年9月15日～9月30日	鳥の演劇祭5



2011年度をまとめて振り返る特集

日々の活動を、大きいものから小さいものまでかなり網羅しました。劇場の運営の様子がおわかりいただけると思います。

2012年度はこんなことをやります

主催事業

<創作プログラム> ～鳥の劇場による演劇作品の製作と上演～
 大人も楽しめる子どものための上演「うみいこ」「どろぼうがっこう」「おおかみと七ひきのこやぎ」
 2012年4月28日(土)～5月6日(日)
 「わが町」(作:ソートン・ワイルダー) 2012年6月29日(金)～7月1日(日)
 「森は生きている」(作:サムイル・マルシャーク) 2012年12月15日(土)～25日(火)
 「天使バビロンに来たる」(作:F.デュレンマット) 2013年3月
 美術作家・やなぎみわ氏との共同制作「鳥の演劇祭5」(2012年9月)にて上演予定

<いっしょにやるプログラム> ～ワークショップなどの参加型・体験型プログラム～
 「小鳥の学校」小学生高学年～中学生を対象として、14の講座と演劇の創作体験を行う。通年で実施。

<招くプログラム> ～外部の劇団やアーティストの招聘～
 「踊りに行くぜ!!」II vol.3 鳥取公演
 全国各地にダンサーが滞在して創り上げたダンス作品を上演する。鳥の劇場でも滞在製作を行う。
 2013年1月に開催予定。

<試みるプログラム> ～これまでにない、新たな企画やプログラムの実施～
 「福祉をかえるアート化セミナー」
 福祉のアート化、アートの社会化をテーマとしたセミナーの招聘・開催。2012年11月に開催予定。

<考えるプログラム> ～「考える場としての劇場」を実践するプログラム～
 芸術と社会の関係などについて考えるレクチャー、映画上映を通年で実施。

鳥の演劇祭5

今年も「鳥の演劇祭」を開催します。開催期間は2012年9月15日(土)～9月30日(日)。日本だけではなく、韓国やフランス、フィンランドからカンパニーを招聘します。これまで同様、「シンポジウム」や「とっとり体験プログラム」も実施します。

県外公演

【わが町】神戸公演 [第17回日本緩和医療学会学術大会 招聘作品]
 2012年6月23日(土)
 【赤いろうそくと人魚】越後妻有公演 [大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012 招聘作品]
 2012年8月4日(土)
 【天使バビロンに来たる】犬島公演 [犬島 海の劇場 委嘱作品]
 2012年11月3日(土・祝)・4日(日)

サポーター寄付のお願い



06年に鳥の劇場の活動をはじめました。「演劇」、「劇場」というものが、生活を豊かにし、未来をつくるために意外と大事なもののなにかもしれない。そのことを鳥取の地で証明してみたい。無謀な挑戦だが、社会から必要とされるものならば生き残れる。

漠然とした勘のようなものを手がかりに始めた活動ですが、ほんとうに多くの方にご理解、ご助力をいただいて、少しずつ活動を広め、深めることを続けています。今年で7年目を迎えることができました。みなさん、ありがとうございます。

支えてくれる大きな柱の一つが、年間一口5,000円のサポーター制度です。毎年400万円を超える寄付をいただいています。ファンクラブなどのような見返りは何もありません。ただもらう。お金といっしょに気持ちももらって、我々はがんばる。

寄付は、私たちの活動の直接の原資になるだけでなく、行政・企業などからの支援を得るための土台にもなります。活動を二重の意味で支えてくれるものなのです。

2012年度からNPOへの寄付金に関する制度も変わります。鳥の劇場もそれに対応して、寄付をいただきやすい環境を整えます。

できましたら継続的なご支援をいただけますよう、切にお願い申し上げます。やりたいことは山ほどあって、それを少しでも多く実現していくために、一段の資金が必要です。お金を効率よく使うことにかけては、我々はかなり自信があります。

今年も、公立ではない民間の公共劇場としてさまざまな試みを重ねていきます。鳥の劇場をあなたの寄付で支えてください。

鳥の劇場芸術監督 中島諒人

..... NPO法人鳥の劇場2012年度サポーター募集のご案内

- 【会費】一口5,000円 複数口も歓迎です。
- 【特典】実績報告書の送付、活動報告会(毎年度末に予定)への参加
- 【期間】2012年4月1日から2013年3月31日まで ※会費は期間内のいつでもお受けいたします。
- 【お申込み】■郵便局窓口でご入金の場合【郵便振替口座 01300-1-58939 名義:鳥の劇場】
 - *振替手数料はご負担ください。*郵便局指定の用紙に、お名前、ご住所、お電話番号、お持ちでしたらメールアドレスもご記入ください。入金確認後、会員証をご送付申し上げます。
- 銀行振込、インターネットバンキングでご入金の場合
 - 下記いずれかのサポーター専用口座にお振込みください。
 - 振り込んだ方のお名前、ご連絡先を鳥の劇場まで必ずお知らせください。
 - 【ゆうちょ銀行 139(イチサンキュー)支店 当座預金 口座番号:0058939】
 - 【みずほ銀行 鳥取支店 普通預金 1718266】
 - 【鳥取銀行 本店営業部 普通預金 0269652】
 - 【山陰合同銀行 鳥取営業部 普通預金 3894187】
 - 【鳥取信用金庫 本店営業部 普通預金 0322825】
 - *名義はどれも「特定非営利活動法人鳥の劇場」です。*振込手数料はご負担ください。*ご住所確認のために鳥の劇場からご連絡差し上げる場合がございます。入金確認後、会員証をご送付申し上げます。

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために

- 送迎します** (無料・要予約)
JR浜村駅と劇場との間を車で送迎いたします。
- 託児します** (無料・要予約)
小さいお子さまをお預かりします。
- カフェがあります**
上演の前後にまるさんによる淹れたてコーヒーや各種ドリンクなどを販売いたします。
- バリアフリーをめざします**
障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡をください。

お知らせ



この春から新メンバーとして、5人が加わりました。左から中垣直久、石井俊佐、中本絵美、目黒大路、目黒浩子です。

劇場へのアクセス

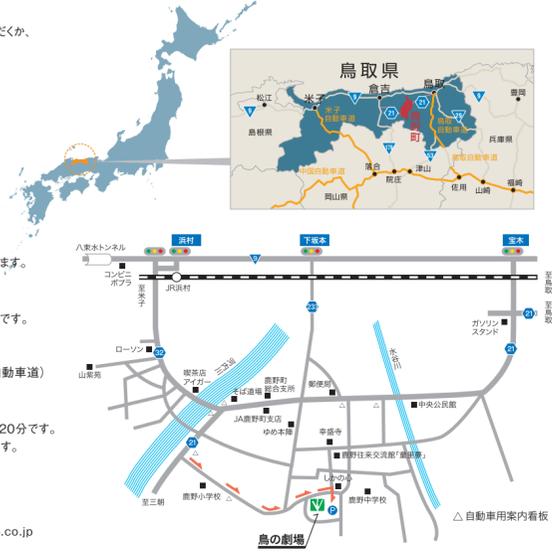
公演日はJR浜村駅と鳥の劇場の間を、車で送迎いたします。時間等についてはお問合せください。(無料、要予約)

●県内からお越しの場合

- JR
浜村駅を目指してください。駅から劇場までは、あらかじめ送迎をご予約いただくか、バス・タクシーをご利用ください。車で約15分かかります。
- 自動車
会場近くに案内看板を設置します。
鳥取市中心部から約30分 鳥取空港から約20分
倉吉市中心部から約45分 米子市中心部から約1時間30分

●県外からお越しの場合

- JR
鳥取駅を目指してください。京都・大阪からはスーパーはくとが、岡山からはスーパーいなばが便利です。鳥取駅から浜村駅までは、山陰本線の米子方面行きで約25分です。
- 高速バス
東京・大阪・神戸・京都・岡山・広島・福岡と鳥取の間で高速バスが走っています。バスは鳥取駅前に着きます。JRで浜村駅までお越しください。
- 自動車
鳥取自動車道の鳥取ICを目指してください。鳥取ICから鹿野までは約20分です。各都市から鳥取ICまでの所要時間の目安は下記の通りです。
大阪から約2時間30分(中国自動車道～国道373号～鳥取自動車道)
京都から約3時間(名神高速道路～中国自動車道～国道373号～鳥取自動車道)
岡山から約2時間30分(国道53号～鳥取自動車道)
- 飛行機
東京・鳥取間を全日空が1日4往復運行しています。鳥取空港からは車で約20分です。連絡バスで鳥取駅まで移動し、浜村駅までJRを利用するという方法もあります。
- ※ご宿泊について
鹿野温泉、浜村温泉のお宿です。(劇場への送迎については直接、宿へご相談ください。)
□山紫苑 電話:0857-84-2211 www.sanshien.jp
□お宿夢彦 電話:0857-84-2411 / 0120-61-0417 www.yumehiko.co.jp
□旅風庵 電話:0857-82-0531 www.ryofuan.com



鳥の劇場

2006年1月、演出家・中島諒人を中心に設立。鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった幼稚園・小学校を劇場施設へ手作りリノベーション。収容数200人の「劇場」と80人の「スタジオ」をもつ。劇団の運営する劇場として、「劇6」「招く」「いっしょにやる」「考える」「考える」の5本柱で年間プログラムを構成。現代劇の創作・上演と併行して、ワークショップ、優れた作品の招聘、レクチャーなどを実施する。
 主な作品は、「老若婦人の訪問」(デュレンマット)、「かめり」(チェホフ)、「剣を鍛える話」(魯迅)、「誤解」(カミュ)、「願野」・「葉上」(三島由紀夫)、「料理昇降機」(ピントー)など。
 08年から地域や行政との協働による演劇祭「鳥の演劇祭」を実施。国際交流も進めており、韓国、タイ、台湾、ルーマニア、イギリス、イタリア、ベルギー、アメリカなどのアーティストが活動。2010年は日中韓三国の演劇祭「BeSeTo演劇祭」も開催。舞台芸術家のための創作の拠点として、全国、海外に開かれた場となることを目指す。同時に、演劇・劇場にしかできないやり方での地域振興、教育分野への貢献のあり方を模索している。
 2011年度国際交流基金地球市民賞受賞。

芸術監督:中島諒人(なかしままこと)
 演出家。鳥取県鳥取市出身。1990年東京大学法学部卒業。大学在学中より演劇活動を開始、卒業後東京を拠点に劇団を主宰。2003年利賀演出家コンクールで最優秀演出家賞受賞。2004年から1年半、静岡県舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取に劇団の拠点を移し、「鳥の劇場」をスタート。二千年以上の歴史を持つ文化装置＝演劇の本来の力を通じて、一般社会の中に演劇の居場所を作り、その素晴らしい必要性が広く認識されることを目指す。
 公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議理事 鳥取大学非常勤講師 BeSeTo演劇祭国際委員 平成21年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞
 劇団メンバー
 菅原頼隆・中川玲奈・菅原啓・赤羽三郎・村上里美・葛岡由衣・村上裕二・長村智代・武中淳彦・高橋等・山本朋幸・中垣直久・中本絵美・目黒大路・目黒浩子・石井俊佐

劇場の見学は、休日・公演日以外はいつでも可能です。休日が不定期ですので、お越しになる前にお電話でご確認ください。また、稽古見学希望の方は、事前にご相談ください。電話:0857-84-3268

特定非営利活動法人鳥の劇場 ウェブサイト www.birdtheatre.org 電子メール info@birdtheatre.org

劇場:〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話・ファックス 0857-84-3268 / 事務所:〒680-0833 鳥取県鳥取市末広温泉町122-3F 電話・ファックス 0857-23-2224

次号は2012年秋頃に発行の予定です。

- 1 (金)
- 2 (土)
- 3 (日)
- 4 (月)
- 5 (火) 鳥の劇場運営委員会開催、[見学・視察]鳥取市東今在家団地実り会30名
- 6 (水) [連携]財団法人たんぽぽの家(奈良県)を視察訪問
- 7 (木) [連携]NPO法人こえとこぼとこころの部屋COCOROOM(大阪市西成区)、クリエイティブセンター大阪(大阪市住之江区名村造船跡地)を視察訪問
- 8 (金)
- 9 (土)
- 10 (日)
- 11 (月) [連携]アートNPOフォーラム総括と今後についての意見交換(ギャラリーそら)に参加(中島)
- 12 (火)
- 13 (水)
- 14 (木)
- 15 (金)
- 16 (土)
- 17 (日)
- 18 (月) [劇場改修]シーリングキャットワーク、上下ギャラリ設置
- 19 (火) [劇場改修]シーリングキャットワーク、上下ギャラリ設置
- 20 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- 21 (木)
- 22 (金)
- 23 (土) [読み聞かせ]読み聞かせグループさくらんぼ「4月のおはなし会(鳥取市立鹿野小学校)」(齊藤頼陽・葛岡)
- 24 (日)
- 25 (月)
- 26 (火)
- 27 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- 28 (木)
- 29 (金・祝)
- 30 (土)

- 1 (日)
- 2 (月)
- 3 (火・祝) [創るプログラム]大人も楽しめる子どもたちのための話「三びきのやぎのがらがらどん」[どろぼうがっこう]「蜘蛛の糸」「アナンシと五」「うみいこ」
- 4 (水・祝) [創るプログラム]大人も楽しめる子どもたちのための話「三びきのやぎのがらがらどん」[どろぼうがっこう]「蜘蛛の糸」「アナンシと五」「うみいこ」
- 5 (木・祝) [創るプログラム]大人も楽しめる子どもたちのための話「三びきのやぎのがらがらどん」[どろぼうがっこう]「蜘蛛の糸」「アナンシと五」「うみいこ」
- 6 (金)
- 7 (土) 鳥の劇場2010年度活動報告会、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:森下 滋)
- 8 (日)
- 9 (月) 鳥の劇場運営委員会開催
- 10 (火)
- 11 (水)
- 12 (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)、[読み聞かせ]読み聞かせグループさくらんぼ「読み聞かせ訪問:鳥取市立鹿野幼児センターこじか園」(葛岡・赤羽・牛迫)
- 13 (金) [創るプログラム]男と女のささやかだけれど大きな話「いかけこむ」[紙風船]
- 14 (土) [創るプログラム]男と女のささやかだけれど大きな話「いかけこむ」[紙風船]
- 15 (日) [創るプログラム]男と女のささやかだけれど大きな話「いかけこむ」[紙風船]
- 16 (月) [講演・客演など]財団法人地域創造平成23年度文化・芸術を活用した地域活性化に関する調査研究第3回事例検討会(中島)
- 17 (火)
- 18 (水) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 19 (木)
- 20 (金) [創るプログラム]男と女のささやかだけれど大きな話「いかけこむ」[紙風船]、[講演・客演など]ITC鳥取クラブ記念例会(ホテルニューオータニ鳥取):「音の絵本Ⅱ-よだかの星」朗読出演(中川)
- 21 (土) [創るプログラム]男と女のささやかだけれど大きな話「いかけこむ」[紙風船]
- 22 (日) [創るプログラム]男と女のささやかだけれど大きな話「いかけこむ」[紙風船]
- 23 (月)
- 24 (火)
- 25 (水) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)、[ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年(中島・齊藤頼陽)、[滞在製作]やなぎみわ・鳥の劇場共同製作
- 26 (木) [滞在製作]やなぎみわ・鳥の劇場共同製作
- 27 (金) [滞在製作]やなぎみわ・鳥の劇場共同製作
- 28 (土)
- 29 (日)
- 30 (月)
- 31 (火)

トヨタ・子どもとアーティストの出会いin鳥取



2011年度は3校での取り組みでした。鳥取県立鳥取緑風高等学校「国語科ドラマ講座」では演出家・脚本家の大岡淳さん、日南町立日南小学校では建築家の高増佳子さんと米間直樹さん、鳥取敬愛高等学校吹奏楽部ではジャズピアニストの森下滋さんと鳥の劇場の武中淳彦が、それぞれの学校の特徴を踏まえてかかりました。日南小学校ワークショップの会場になったのは旧日野上小学校。2009年に廃校となったここを再び地域の「交流の場」として活用することが大きな目的です。建築家からのアプローチに地域の方からも期待が寄せられました。ワークショップは、実際に見てみる→測ってみる→町の方にヒアリングする→空間づくりをする、など段階を追って進められました。秋にはその成果として、子どもたちによる「青空スープカフェ」が開催されました。緑風高校と敬愛高校の取り組みでは、ワークショップの中間発表として、「鳥の演劇祭4」で観客の前に高校生による上演・演奏を行いました。

おたふく風邪集団予防接種

ゴールデンウィーク上演の数日前、鳥取地域でおたふく風邪が流行。劇場でウイルスを媒介してしまわないよう、おたふく免疫があるかどうかあやしいメンバーは急ぎ予防接種を受けに行きました。

大人も楽しめる子どもたちのための話



「うみいこ」「蜘蛛の糸」「どろぼうがっこう」「アナンシと五」「三びきのやぎのがらがらどん」を組み合わせて1日2回上演しました。小学校や幼稚園での子どもたちとの出会いの中でつくってきた作品や、稽古の過程で偶然のように生まれた追加の新作。かぶりつのように複数に座る小さい子、子どもの反応を楽しみながら観る大人、笑顔あふれる客席でした。

- 1 (水) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)、[講演・客演など]成人式(国立病院機構鳥取医療センター):演奏(武中)、鳥の劇場運営委員会開催、[劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 2 (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)、[劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 3 (金) [劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 4 (土) [講演・客演など]美作大学短期大学部幼児教育学科1年生向け「総合表現技術」平成23年度前期集中講義(中島・齊藤頼陽)、[劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 5 (日) [講演・客演など]美作大学短期大学部幼児教育学科1年生「総合表現技術」平成23年度前期集中講義(中島・齊藤頼陽)、[劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 6 (月) [劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 7 (火) [連携]アーティストリゾート推進調査・研究事業に関する打ち合わせ、[劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 8 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、[劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置
- 9 (木) [劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置、[連携]劇団ティダの活動拠点(Tutbat・韓国)を視察訪問及び今後の事業計画について意見交換
- 10 (金) [劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置、[連携]劇団ティダの活動拠点(Tutbat・韓国)を視察訪問及び今後の事業計画について意見交換、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:森下 滋)、[読み聞かせ]読み聞かせグループさくらんぼ「読み聞かせ訪問:鳥取市立鹿野幼児センターこじか園」(葛岡・高橋・増谷)
- 11 (土) [劇場改修]客席強化・劇場リノウム張替・客席反響板設置、[講演・客演など]美作大学短期大学部幼児教育学科1年生向け「総合表現技術」平成23年度前期集中講義(中島・齊藤頼陽)、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:森下 滋)
- 12 (日)
- 13 (月)
- 14 (火)
- 15 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 16 (木)
- 17 (金)
- 18 (土)
- 19 (日) [演劇祭]ロボット演劇(山口情報芸術センター)視察
- 20 (月)
- 21 (火) [演劇祭]鳥のボランティア説明会(鳥取大学)(葛岡・村上里美・長村)
- 22 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- 23 (木)
- 24 (金)
- 25 (土) [読み聞かせ]読み聞かせグループさくらんぼ「6月のおはなし会(鳥取市立鹿野小学校)」(葛岡・増谷)
- 26 (日) [ワークショップなど]鳥取市立遷善小学校5年生親子会対象WS、[ワークショップなど]鳥取市立遷善小学校4年生親子会対象WS
- 27 (月)
- 28 (火) [連携]鳥取県アーティストリゾート調査研究実行委員会(仮称)設立総会(鳥取大学):参加(中島)
- 29 (水) [出張ミニ上演]『どろぼうがっこう』上演及びWS(鳥取市立面影小学校)、[連携]METAL(イギリス)を視察訪問(中島・齋藤啓・齊藤頼陽)
- 30 (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)、[連携]METAL(イギリス)を視察訪問(中島・齋藤・齊藤)

- 1 (金) [連携]METAL(イギリス)を視察訪問(中島・齋藤・齊藤)、[演劇祭]豊島「鳥キッチン」を視察訪問(村上里美・中本・増谷)、[劇場改修]客席床下倉庫設置
- 2 (土) [連携]METAL(イギリス)を視察訪問(中島・齋藤・齊藤)、[演劇祭]豊島「鳥キッチン」を視察訪問(村上里美・中本・増谷)、[劇場改修]客席床下倉庫設置
- 3 (日) [連携]METAL(イギリス)を視察訪問(中島・齋藤・齊藤)
- 4 (月) [連携]METAL(イギリス)を視察訪問(中島・齋藤・齊藤)、[劇場改修]客席床下倉庫設置
- 5 (火) [連携]METAL(イギリス)を視察訪問(中島・齋藤・齊藤)、[劇場改修]客席床下倉庫設置
- 6 (水) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:森下 滋)、[ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 7 (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:森下 滋)、[読み聞かせ]読み聞かせグループさくらんぼ「たなばた交流会:鳥取市立鹿野幼児センターこじか園」(葛岡・高橋)、[鳥取県教委との連携]鳥取県立鳥取聾学校WS
- 8 (金)
- 9 (土) [家族・職場・近所演劇お助けプロジェクト]大学生企画のお手伝い、[講演・客演など]踊りに行くぜ!!!Ⅱ vol.2選考会:選考委員(中島)
- 10 (日) [講演・客演など]踊りに行くぜ!!!Ⅱ vol.2選考会:選考委員(中島)
- 11 (月) [演劇祭]記者発表
- 12 (火) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]鳥取県立鳥取緑風高等学校国語科ドラマ講座対象WS「日常を脚本にしてみよう 創る 読む 楽しむ」(講師:大岡 淳)、[鳥取県教委との連携]鳥取県立米子養護学校WS
- 13 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- 14 (木) [鳥取県教委との連携]鳥取県立米子養護学校WS
- 15 (金)
- 16 (土)
- 17 (日) [連携]鳥取県アーティストリゾート調査研究実行委員会改め「みらいアート会議」:参加(中島)
- 18 (月・祝) [連携]Tutbat演劇祭「ワークショップフェスティバル」(中川)
- 19 (火) [連携]Tutbat演劇祭「ワークショップフェスティバル」(中川)
- 20 (水) [連携]Tutbat演劇祭「ワークショップフェスティバル」(中川)、[ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 21 (木) [連携]Tutbat演劇祭「ワークショップフェスティバル」(中川)
- 22 (金) [連携]Tutbat演劇祭「ワークショップフェスティバル」(中川)、[講演・客演など]院内コンサート(米子市:鳥取大学医学部附属病院):「音の絵本Ⅲ-どんぐりと山猫」朗読出演(齊藤頼陽)、[連携]Tutbat演劇祭「ワークショップフェスティバル」(中川)
- 23 (土) [講演・客演など]星空コンサート(米子市:淀江文化センター):「音の絵本Ⅲ-どんぐりと山猫」朗読出演(齊藤頼陽)、[連携]Tutbat演劇祭「ワークショップフェスティバル」(中川)、[連携]韓国の音楽家と共同製作及び上演「アナンシと五」(中川)、[読み聞かせ]読み聞かせグループさくらんぼ「7月のおはなし会(鳥取市立鹿野小学校)」(中垣)
- 24 (日)
- 25 (月) [連携]Tutbat演劇祭「地域住民と行うワークショップ」(中島・齊藤頼陽)
- 26 (火) [連携]Tutbat演劇祭「地域住民と行うワークショップ」(中島・齊藤頼陽)
- 27 (水) [連携]Tutbat演劇祭「地域住民と行うワークショップ」(中島・齊藤頼陽)
- 28 (木) [連携]Tutbat演劇祭「地域住民と行うワークショップ」(中島・齊藤頼陽)
- 29 (金) [連携]Tutbat演劇祭「地域住民と行うワークショップ」(中島・齊藤頼陽)
- 30 (土) [県外上演]「白雪姫」(Tutbat演劇祭)
- 31 (日)

劇場改修



念願だった劇場改修に取りかかりました。照明・バンの改修、反響板の新設、客席の強化、リノウム(劇場床シート)張替。さらには屋根に上って雨漏り修繕、道具倉庫づくり、経歴豊富なスタッフ島中さんも大阪から住み込みで手伝いに来てくれ、入ったばかりの鳥取出身の若い舞台スタッフにとってもいろいろと学ぶ機会になりました。2011年6月20日、改修第一段落終了を記念して、敷いた真新しいリノウムの上にもんで立ってみました。

鳥取県教育委員会平成23年度創作体験活動支援事業

7月から11月にかけて県内7つの中学校と6つの特別支援学校へ出かけ、各校のニーズに応じてワークショップを行いました。生徒たちは物語の世界を演劇として体験してみることへの興味を深めたり、舞台発表のための実践的な刺激を受けたり、物語を身体に通ずることや他人とかわる楽しさを味わったりしてくれました。演劇が学校教育の多くの場面で非常に面白い役割を果たすことが、確認できました。

イギリスMETAL視察

METALは2009年にアートマネジメント講座の講師として来ていただいたジュード・ドレーカーさんの運営するNPOです。代表の中島と、制作の齋藤に役者の齋藤、それにBEPPU PROJECTの林さんもおっしょです。それぞれの視点で得るものがあり、鳥の劇場のこれからの考える上で大きな刺激を受けました。

韓国の劇団ティダとの交流



韓国・江原道華川郡を拠点に活動する劇団ティダと、3年にわたって創造的交流プログラムを実施します。第1弾として、劇団ティダ主催「Tutbat演劇祭」に参加しました。「白雪姫」上演以外にも、相互交流(劇団ティダと鳥の劇場のメンバーによる地域活動の事例紹介と課題や展望についてのトークセッション、互いの作品づくりを行っている訓練の実践)、韓国の実演家向けワークショップ、地域住民とのワークショップ、日本と韓国の地方を拠点に活動する劇団によるフォーラムなどに取り組み、内容の濃い2週間の滞在でした。中島が韓国のおばさま方と行ったワークショップは「桃太郎」を題材に4日間実施。成果発表では、桃が流れて来るところから桃太郎が鬼ヶ島へ出発するまでの場面が演じられ、集まった人々は笑って泣いて、多くの感動を呼びました。



- 1 (月) [県外上演]「白雪姫」(Tutbat演劇祭)
- 2 (火) [連携] Tutbat演劇祭「フォーラム」
- 3 (水)
- 4 (木)
- 5 (金)
- 6 (土) [いっしょにやるプログラム] 夏休みの小鳥の学校、[見学・視察] 東京大学大学院文化資源学研究生15人
- 7 (日) [いっしょにやるプログラム] 夏休みの小鳥の学校、[見学・視察] 東京大学大学院文化資源学研究生15人
- 8 (月) [いっしょにやるプログラム] 夏休みの小鳥の学校
- 9 (火) [いっしょにやるプログラム] 夏休みの小鳥の学校、[演劇祭] 鳥のカフェメニュー試作会
- 10 (水) [いっしょにやるプログラム] 夏休みの小鳥の学校、[演劇祭] 「スガンのやぎ」(北九州芸術劇場)舞台装置視察(村上裕二)
- 11 (木) [いっしょにやるプログラム] 夏休みの小鳥の学校
- 12 (金) [演劇祭] 「スガンのやぎ」(北九州芸術劇場)を視察(齋藤啓)
- 13 (土)
- 14 (日)
- 15 (月)
- 16 (火)
- 17 (水) [演劇祭] シンポジウムに向けての意見交換(たんぼほの家)(中島・長村・中本)
- 18 (木)
- 19 (金)
- 20 (土) [家族・職場・ご近所演劇お助けプロジェクト] 大学生企画のお手伝い
- 21 (日)
- 22 (月) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:森下 滋)、[劇場改修] 客席エアコン工事
- 23 (火) [劇場改修] 客席エアコン工事、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 平成23年度中間報告会:発表(長村)
- 24 (水) [ワークショップなど] 鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齋藤頼陽)、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 平成23年度中間報告会:発表(長村)
- 25 (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 平成23年度中間報告会:発表(長村)
- 26 (金) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:森下 滋)
- 27 (土) [講演・客演など] 鳥取市立鹿野町中央公民館図書事業定例おはなし会特別企画「こわいこわいおはなし会」:「どこじゃ、へいへい」出演(中川・高橋)、[家族・職場・ご近所演劇お助けプロジェクト] 大学生企画のお手伝い
- 28 (日)
- 29 (月) [ワークショップなど] 鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」文化祭発表「赤頭巾」演技指導(中川)、[滞在製作] とりとダンスリハーサル
- 30 (火) [滞在製作] とりとダンスリハーサル、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 鳥取県立鳥取緑風高等学校国語科ドラマ講座対象WS「日常を脚本にしてみよう 創る 読む 少し演じる」(講師:大岡 淳)
- 31 (水) [滞在製作] とりとダンスリハーサル、[ワークショップなど] 鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齋藤頼陽)、[演劇祭] コスモス回廊づくり、[ワークショップなど] 鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」文化祭発表「赤頭巾」演技指導(中川)

- 1 (木) [滞在製作] とりとダンスリハーサル、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)
- 2 (金) [滞在製作] とりとダンスリハーサル、[鳥取県教委との連携] 鳥取大学附属特別支援学校WS
- 3 (土) [滞在製作] とりとダンスリハーサル、[演劇祭] 野外劇場設置
- 4 (日) [滞在製作] とりとダンスリハーサル、[演劇祭] 野外劇場設置
- 5 (月) [鳥取県教委との連携] 鳥取大学附属特別支援学校WS、[劇場改修] キュービクル工事
- 6 (火) [読み聞かせ] 読み聞かせグループさくらんぼ「読み聞かせ訪問:鳥取市立鹿野幼児センターこじか園」(齋藤頼陽・葛岡)
- 7 (水)
- 8 (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)、[鳥取県教委との連携] 鳥取県立鳥取養護学校WS
- 9 (金)
- 10 (土) [演劇祭] 「素敵なお家で説明会」開催、[滞在製作] とりとダンスリハーサル
- 11 (日) [滞在製作] とりとダンスリハーサル
- 12 (月)
- 13 (火) [鳥取県教委との連携] 鳥取県立鳥取養護学校WS、[ワークショップなど] 鳥取市立蓮崎小学校4年生対象WS(講師:エレナ・ボスコ)、[ワークショップなど] 鳥取市立鹿野小学校6年生対象WS(講師:エレナ・ボスコ)、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 鳥取県立鳥取緑風高等学校国語科ドラマ講座対象WS「日常を脚本にしてみよう 創る 読む 少し演じる」(講師:大岡 淳)、[滞在製作] とりとダンスリハーサル
- 14 (水) [ワークショップなど] 鳥取市立蓮崎小学校全校対象WS(講師:エレナ・ボスコ)、[ワークショップなど] 鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齋藤頼陽)、[ワークショップなど] 鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齋藤頼陽)、[演劇祭] 記者発表、[滞在製作] とりとダンスリハーサル
- 15 (木) [滞在製作] とりとダンスリハーサル
- 16 (金) 鳥の演劇祭4
- 17 (土) 鳥の演劇祭4
- 18 (日) 鳥の演劇祭4
- 19 (月・祝) 鳥の演劇祭4
- 20 (火) 鳥の演劇祭4、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)、[ワークショップなど] 鳥取市立鹿野小学校4年生対象WS(講師:末吉正子)
- 21 (水) 鳥の演劇祭4
- 22 (木) 鳥の演劇祭4
- 23 (金・祝) 鳥の演劇祭4、鳥の劇場 5周年
- 24 (土) 鳥の演劇祭4、[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取] 鳥取県立鳥取緑風高等学校国語科ドラマ講座対象WSの中間発表「日常を脚本にしてみよう 創る 読む 少し演じる」(講師:大岡 淳)
- 25 (日) 鳥の演劇祭4
- 26 (月) 鳥の演劇祭4、[鳥取県教委との連携] 伯耆町立溝口中学校WS、[ワークショップなど] 鳥取県立米子養護学校学習発表会練習
- 27 (火) 鳥の演劇祭4、[鳥取県教委との連携] 鳥取県立吉養護学校WS、[ワークショップなど] 鳥取県立鳥取養護学校学習発表会練習
- 28 (水) 鳥の演劇祭4、[ワークショップなど] 鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齋藤頼陽)、[ワークショップなど] 鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齋藤頼陽)
- 29 (木) 鳥の演劇祭4
- 30 (金) 鳥の演劇祭4

夏休みの小鳥の学校 ~自分で考える子ども、行動する子どもを育てる~



「小鳥の学校」は芸術教育を中心にした週末の学校。2011年1月~3月に第1回を開講し、今回は2回目。芸術を中心に、各分野の第一線で活躍中の講師陣に45分授業を各4回実施してもらいました。8月6日から11日の夏休みの5日間、小学5年生から中学3年生の14人が劇場で学びました。家庭や学校での学びとは違った経験に、楽しかったり戸惑ったり、笑ったり考え込んだり。どの授業も全身で体感しているのが伝わってきました。

■講座内容
 [デザイン]「伝えるためにはどうしよう チラシをつくりながら考える」……………今井善一(デザイナー)
 [文学]「少しでも楽しく文章を書くには?」……三浦しをん(小説家)
 [音楽]「音の作文」……………武中淳彦(作曲家)
 [演劇]「童話の世界を芝居にしよう」……………中島録人(演出家/鳥の劇場芸術監督)
 [社会]「根拠裁判をやってみよう」……………本田幸則・淺井浩二(鳥取県弁護士会所属)
 [くら]「家具いすの授業」……………白岡 彪(家具デザイナー)



家族・職場・ご近所 演劇お助けプロジェクト

家族で、職場の仲間と、近所の人たちといっしょにお芝居をつくらうのが楽しいんじゃないか、それを鳥の劇場としても応援してみたい、というプロジェクト。初めての応募は大学生からでした。彼女が書いたオリジナル小説を、朗読上演の形につくり上げる過程を俳優の中川がお手伝いしました。



鳥の演劇祭4 2011年9月16日(金)~10月2日(日)

上演プログラム

- 「白雪姫」~グリム童話「白雪姫」より 鳥の劇場 [鳥取] 9月16日(金)19:30-17日(土)13:00
- 「スガンのやぎ」カーン国立演劇センター [フランス] 9月16日(金)21:00-17日(土)15:00-18日(日)15:00
- 「TOTTORI - KYOTO」コミュニティダンスの祭典 9月17日(土)17:00-18日(日)17:00
- とりとダンス/ロスホコス-明倫体育振興会ダンス部-[鳥取/京都]
- 「王女メデア」SPAC-静岡県舞台芸術センター [静岡] 9月17日(土)19:00-18日(日)19:00
- 「オフェリアと影の一座」パベットシアター・センター「ブイ」 [フィンランド] 9月18日(日)13:00-19日(月)祝)17:00
- アンドロイド演劇「さようなら」 平田ササキ+石黒浩研究室(大阪大学&ATR石黒浩特別研究室)(大阪) 9月23日(金)祝)13:00-24日(土)13:00-25日(日)13:00
- 「The Return-帰還」劇団ハル [韓国] 9月23日(金)祝)15:00-24日(土)15:00
- 「ホットベッパ-」クラー、そしてお別れの挨拶」チュルフィツェ [神奈川] 9月23日(金)祝)18:00-24日(土)19:30-25日(日)19:00
- 「剣を鍛える話」鳥の劇場 [鳥取] 9月23日(金)祝)20:00-30日(金)19:30
- 「土地/自傳」劇団こぶく劇場 [宮崎] 9月24日(土)16:30-25日(日)15:00
- 「羅生門」くらぶ [奈良] 9月30日(金)15:00-10月1日(土)15:00
- 「HIROSHIMA-HAPCHEON:二つの都市をめぐる展覧会」マレトの会 [京都] 10月1日(土)11:00-15:00-2日(日)11:00-15:00
- 「LOVE & WAR」のこされ劇場= [福岡] 10月1日(土)13:00-2日(日)13:00
- 「ブロッコックス」ブートワークス・シアター [イギリス] 「トル・ボックス・オブ・ホーズ」10月1日(土)17:00-18:00-20:30 「アンダルシアの箱」10月2日(日)11:00-12:00-14:30
- 「空中の渡し守」/「道」エルヴィン・シレン [フィンランド] 10月1日(土)19:00-2日(日)15:30

演出がエロティック! (40代男性・鳥根果)



野外上演が気持ちよかったです。舞台の後ろではおかにみえる鹿野の風景がいい。(20代男性・鳥取市)



自分の順番が来るまでの待つ間、テントの外から中の様子をのぞいたり、中からの音や叫び声を聞いたりして、恐ろしさとともに早く中に入りたという好奇心がどんどん膨らんできました。ボックスの中にはまさに異次元という感じで、目と耳から入ってくる刺激に心地よく酔えました。楽しい体験でした。(50代女性・鳥取市)

まったく他者の存在を絶対として生きる「俳優たち」が交錯するのを体感する。あなたかいたのを感じます。大きなアートでした。(60代女性・鹿野町)



ロスホコス、おじさんが踊る真剣さ、気迫がすごかったです。しかもみなさん個性が強烈。(20代女性・香川県)



これまでに見たことのない程、きれいで幻想的なシルエットでした。人形の動かし方も、生きているように感じ、とても感動しました。(50代女性・鳥取市)



韓国入ってパワーがあるなあ。(10代男性・茨城県)



「子どものいちにち。」9月19日(月・祝)

- 10:30~ かねっこバザール 運営「かねっこバザール」実行委員会
- 11:00~ おはなし上演 14:00~ 出演:末吉正子/真嶋朋枝
- 12:00~ アトラクション
- 13:00~ 紙芝居-おはなし会-絵本読み屋 出演:読み聞かせグループさくらんぼ、鳥の劇場
- 14:00~ おはなし上演
- 15:00~ かねっこアクション-紙芝居-おはなし会-絵本読み屋
- 17:00~ 人形劇「オフェリアと影の一座」

ストーリーテリング、紙芝居、読み聞かせ、おもちゃの交換プログラム「かねっこバザール」、マジックに大道芸、そしてフィンランドの人形劇。子どもが楽しめるプログラムを集めた、とっておきの「いちにち」です。当日はあいにくの雨でしたが、約100人の子どもや大人たちが自由に鹿野の町中をめぐって楽しみました。雨に負けない盛り上がりで、子どもが主役の一日となりました。ろうそくを灯し、椅子に座って「おはなし」をされた末吉さん。一方、真嶋さんは、体の動きも大きく使った観客参加型の「おはなし」。それぞれの「おはなし」の世界にどんどん引き込まれていきます。笑顔の子、怖いけど聞きたい子、集中して聞いてる子。どの子もキラキラした目の輝きと、生き生きとした表情が印象的でした。自分の使わなくなったおもちゃを持って来て、2かえるポイント。「おはなし」を聞いて3かえるポイント。子どもだけがもらえるポイントを集め、全国から集まったおもちゃと交換できるプログラム「かねっこバザール」。誰もが欲しい!これはずいぶん認定されたおもちゃは最後に競りに掛けられます。欲しいおもちゃが揃ったら悔し涙を流す子がいったりと、子どもたちの熱い戦いが繰り広げられました。



とっとり体験

演劇祭カメラマンとして期間中撮影してくれた、写真家の水本俊也さんにレポートしていただきました。

鳥取県出身、横浜市在住。故郷を離れて20年。今回の鳥の演劇祭4にて「とっとり体験プログラム」を撮影という名目ながら文字通り全て体験させていただきました。20年という年月は10年ほど昔というくらいなので、やはり長い時間のように思います。心の身中においてはそう変わらないものだからと自戒も兼ね、認識しているのですが、職遊びを心から楽しめ、民藝や遺跡に興味を持ち、歴史や地理にも心惹かれるようになりました。鳥取の米から作られる日本酒、職人魂が生んだ炊飯器など鳥取で生まれる一品や製品は文化を支える柱だと感じました。様々な伝統を知り、新しい発見もあった「とっとり体験プログラム」。ひとつひとつ紐解いて綴ってみます。

写真家という職業柄というわけではなく、ここ数年、中谷英明さんのブログ「TOTTORI BLUE」のファンでした。高校生のとき、山に開けた八頭から海水浴に通った岩釜の海。内陸部で育った僕は海への憧れを持つと同時に「海の季節＝夏休み」だと思っていました。写真集にもなっている「TOTTORI BLUE」で表現される鳥取の海は、世界中の海を客船やヨットで巡ってきた僕にとっても強烈に惹かれる美しさです。一眼レフカメラの水中ハウジング(防水器具)を準備し、勇んで潜った城原海岸の海は天候には恵まれたものの、あいにくぬりにより少し濁っていました。それでも海の専門家である中谷さんの丁寧なお話のもと、砂浜に水際で多くの美しい生物を見ることができました。今回、洞窟には通り着けませんでした。それが、それも次回への楽しみに変わります。今度はどんな海が見られるだろう。鳥取の海との再会に今も心躍り、次回へのワクワク度が高まる貴重な体験プログラムとなりました。

故郷を離れたときは若年18歳。お酒がまだ嗜めない若者でした。今や年齢だけは立派な大人。「鳥の劇場」を観劇した後はふらりと「鳥の酒場」へ。一日限定鳥取の日本酒に舌鼓を打つ会＝谷本酒店さんと山根酒造場さんによる酒造りの秘密を聞く会。もちろん賢沢にきもつづりの名酒をそろえた利き酒も堪能させていただきました。冷や、お糺、原酒やこり酒など次から次へと広がる日本酒ワールド。お酒に酔えば、温泉豊富な鹿野の町に泊まるもよし、忘れた銘柄は鳥取市内にある谷本酒店さんに直接訪ねるもよし。そんな秋の夜長が更けにくい楽しい日本酒の会となりました。第2週は秋分の日に始まった3日連続の「とっとり体験プログラム」。まずは民藝美術館でのプログラム。これまで頭の片隅にしかなかった鳥取の歴史が鳥取民藝美術館の木谷さんの情熱的な解説のおかげでクローズアップされ、深く学ぶことが

できました。鳥取市河原町の窯元から生まれた牛ノ戸焼など全国的にも注目を集める鳥取の民藝も再認識することができました。隣接するたぐみ割烹店での民藝の器でいただくカレーの昼食は格別の味でした。文化を知り、鳥取でのお気に入りの店も知ることができた充実の一日に感謝です。

弥生時代には海の入江だったという中東部に位置する青谷町。良好な状態で出土した「弥生人の脳」は国内初の発掘であり、全国的に一躍青谷の名を馳せました。青谷上寺地遺跡の詳しい説明を聞いていて、まるで弥生時代へのタイムマシンに乗って時代を越えたような錯覚に陥ります。専門の研究者に出土品や出土方法、弥生人の生活などを詳しく解説していただくことで、今も地中に眠っているであろう歴史のロマンに触れることができました。

鳥取県中部地方では三朝温泉と並び、景勝地として挙げられる三徳山・投入堂。鳥取出身にして恥づかしな者未だ訪れたことがありませんでした。それだけにプログラムへの期待特大でもあった体験プログラムのひとつです。開催当日は爽やかな秋風の中、絶好の山日和となりました。ガイドさんの案内のおかげで、険しい山道にも参加者のみなさんと楽しく登ることができました。1時間半かけて辿り着いた投入堂。断崖絶壁の岩窟に神妙に映るその光景は登ってきた者のみに許される神聖な場所でした。海と山が距離的に近い鳥取県には魅力的な、それでいて未体験の素晴らしい場所がまだまだたくさんあることを確信した体験プログラムとなりました。

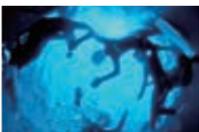
第3週は演劇祭ストリートワーク。満を持してのファイナルプログラムは鳥取の職人魂が生んだ炊飯器で鳥取米を「美食」するおいしい体験でした。鳥のカフェが一日限りのクッキングスタジオに早変わり。炊飯器ひとつでこれだけ味が変わるものか日々食してきたお米への世界観さえも変わります。鹿野の町の食材でじっくりコトコト作られたシロ肉やキヤラギ、青ジソの佃煮なども絶品。「平成の名水百選」に選ばれた「布勢の清水」で炊いた鹿野産の新米には類がただただ続いただけです。「とっとり体験プログラム」随一の美味しく、嬉しい体験となりました。

最後に一言感想メッセージを、鳥取在住者、鳥取出身者、県外にお住まいの方々など、どなたにも楽しんでいただけるのが「とっとり体験プログラム」。劇場作品観劇と合わせて、一人でも参加するもよし、お友達と参加するもよし。鳥取を丸ごと体験できる「とっとり体験プログラム」は写真家お助めの一押しプログラムです!!

のぞいてみよう!青いととりの海のなか

9月18日(日)9:00~12:30 案内:素もぐり写真家「鳥取BLUE」中谷英明

ウェットスーツを着て、シュノーケルとカメラを持って向かうは山陰海岸ジオパーク内の城原海岸。参加者はシュノーケリングの基礎講習を受け、海中の写真撮影を試みました。日本海の荒波と風雪によってつくられた崖道や洞窟を、冒険家のように移動しながら、アジやエビ、貝などを水中で「シヤリ」。荒々しいイメージの日本海ですが、青く美しい穏やかな生き物の住処という一面を写真におさめることができました。



本日開店!鳥の酒場で楽しむ、ととりの日本酒

9月18日(日)21:00~22:30 案内:谷本酒店 谷本暢正

好評につき、昨年に続いて鳥取の日本酒をじっくり味わう夜のお会です。今回は、国内でも数少ない「きもつづり」という伝統的な酒造法の秘密をお話しいただきました。その手間と時間のかけがえのない驚き、造り手の日本酒を愛する思いに感動し、それを踏まえていただく酒はまた格別なものがあります。さまざまな方がお酒を飲み交わし楽しく会話をされる様子は、集落の寄り合いのような、昔から変わらない日本の原風景のような暖かみがあり、日本人の生活にとっての日本酒の必然性のようなものを感じました。



吉田璋也の美意識+匠の技=ととりの民藝

9月23日(金・祝)9:30~12:15 案内:財団法人鳥取民藝美術館常務理事 木谷清人

全国から注目を集めている鳥取の民藝について、実際の器や展示品を見ながらレクチャーを受けました。普段から民藝に関心のある方が多く参加されており、みなさん真剣なまなざしでお話を聞き、作品に魅入っておられました。お昼には、現在の継承者がつくるすてきな器に盛られた鳥取和牛カレーをこちそうになり、目でも舌でも民藝を堪能できたこと、とても好評でした。



古代の遺跡で弥生人に思いをはせる

9月24日(土)9:00~11:30 案内:鳥取県埋蔵文化センター青谷上寺地遺跡調査室 原田雅弘ほか

青谷上寺地遺跡の出土品の解説を伺った後、現在発掘調査中の現場を見学しました。そこには、弥生時代の田んぼの水路が「発掘する時どき道具を使うのか」という参加者の質問に答えられる研究者の方の的確さが印象的でした。職人技の手仕事をされている方の熱意あるお話で、当時の人々の生活を少し覗き見しているような感覚になりました。



投入堂を目指して、切り立つがけを登れ!

9月25日(日)9:00~12:00 案内:旬彩工房 三徳山ガイド 山田良俊

毎年好評の企画。天気にも恵まれ、絶好の登山日和でした。わらじ履き装束をかけ、危険な崖道を約1時間かけて登って行きます。そんな苦勞をして断崖絶壁にある投入堂に到着すると、からだも心も洗われたような不思議な達成感がありました。修行僧の体験をした参加者は、みなさんすがすがしい顔でした。



"炊飯器の神様"に聞こえろ!おいしさの秘密

10月1日(土)10:00~12:00 案内:K・ラボ主宰 下澤理如

鳥取のお米を美味しく食べるために開発された鳥取三洋の炊飯器。その開発者である"炊飯器の神様"に炊飯器の仕組みやお米の特質など、わかりやすくお話ししていただきました。神様の炊飯器で「鳥取の新米」を「鳥取の名水」で炊き上げたご飯は、お米本来の豊かな味がします。参加者のみなさんはご飯をおぼりながら「日本人でよかった」と至福のため息。当たり前のように美味しいご飯が食べられることがどんなにありがたいか、しみじみ実感できました。



鳥のカフェ

鳥の劇場は公演時にカフェを営業しています。コーヒーの達人である達さんによる香り高く味深いコーヒー、まる達さんセレクトのスイーツなどを提供し、お客さまの劇場体験がより深くなるような雰囲気づくりを目指しています。今回はさらに、鳥取市内の人気カフェ「cafe SOURCE」さん、「cafe-nee」さんにご協力いただき、食事メニューの開発から実際のカフェ運営にいたるまで、いっしょに準備を進めました。メニューは鹿野地鶏のネギ味噌定食、野菜たっぷりバイシナーカレー、地元豆腐のハンバーガーの3種類、どれも地元の食材を活かした、鳥のカフェでしか味わえないオリジナル、おいしいと好評でした。店内も昨年より広くて開放的に、期間中はお昼前から夜までオープンし、上演を観に来られた方はもちろん、ふらりと立ち寄られた方も利用できるようにしました。観劇の合間に食事とコーヒーでゆったりカフェを満喫される方、自分の本番後にビールで乾杯し語り俵種、ハンバーガーをバツと食べて次の仕事に行くスタッフ、また、シンポジウムやレクチャーや高校生による発表、時には飛び入りのリーディング上演も行われます。鳥のカフェは、いろいろな人が時間を共有し交流する場となり、「食」を通じて演劇祭を盛り上げる大事な役割を担っていました。



3度目の演劇祭も終わり、鳥の劇場も6年目。私が鹿野に来たのもほぼ同じ頃。不思議な縁に導かれ、得体の知れぬエネルギーに逆らえず。結局ここはそんな場所。誕生してこれまで、たぶん人の人や言葉が往き交い、芸術や文化が化学反応する。社会の閉塞とも上手く付き合いつつ、そのベクトルには同調せず、むしろ自力でかきまわして、ハズルのように落とし所を探る。何の芸も無い自分が、ただ珈琲を淹れるだけで、この現場に居られた事は幸せでした。今回の演劇祭でも、美味しいものへの反応は世界共通だなと嬉しい思い、お陰であまり観劇できず悲し。思っている通りに無くなるなどどうなる? 思いの外小所帯で、何役も役割をこなす役者にスタッフ。熱い魂だけでは、どうしようも無い時もお有りでしょう。そんな時は少しクールダウン。美味しい珈琲でひと休みしては、まる達珈琲 田中達也



シンポジウム・レクチャー

シンポジウム「芸術による社会的包摂—その実践と未来」では、福祉とアートに携わるパネリストのみなさんにそれぞれの取り組みを紹介していただき、ともに価値を認め合って生きていくためにアートが果たしうる役割を考え、それを基に、社会全体が、震災、津波、原発事故の後、どういう方向に行くべきか、参加者とともに迷いながら考えていきます。

レクチャーではお二方からお話を伺いました。協同的な学習環境としてのワークショップの研究に取り組んでいる菊宿氏、「鳥の劇場を"学校"にしてみたら?」という発想から展開されたお話に引き込まれました。もう一方は、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレや、瀬戸内国際芸術祭など大きなプロジェクトを手掛ける北川氏。最近の仕事の紹介とともに、感動したことや困ったことなどこれまでの体験をお話しいただきました。鳥の演劇祭との規模の違いに圧倒されますが、それでも試してみたいイベントも随所にあり、大きな刺激をもらいました。

□シンポジウム「芸術による社会的包摂—その実践と未来」

9月30日(金)16:30~
パネリスト:播磨講夫(財団法人たんばの里理事長)
竹川俊夫(鳥取大学地域部地域政策学科学准教授)
福森伸(社会福祉法人太陽会入所支援施設しようぶ学園施設長)
井手添敬子(NPO法人「笑」理事長・福祉美容師)
松本佳久子(音楽療法士・武庫川女子大学音楽部講師)

進行:五島朋子(鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授)

□レクチャー「参加する学びを考える —共生せざるを得ない社会と出会う—」

9月25日(日)17:00~

講師:菊宿俊文(青山学院大学大学院社会情報学研究科教授)

□レクチャー「北川フラムさんに聞く、芸術祭の未来」 9月30日(金)21:30~

講師:北川フラム(アートディレクター)



セレクトショップ

昨年の鳥の演劇祭3で期間限定オープンしたセレクトショップ。「鳥取にある素敵なものをおすすしたい」という思いのもと、今年もオープン。前回は好評だった、民藝運動の陶器、ガラスの器やアクセサリー、手すきの和紙製品、郷土玩具などはそのままに、今回は、鳥取民藝運動の父・吉田璋也デザインのナイフ、鳥取名産のらっきょうを使ったお菓子、こだわりをもって栽培された地元産生薬を使ったコンフィチュール、若手芸家による革小物などをラインナップに加えました。ショップ担当スタッフは、商品といっしょに仕入れた知識をもとに、お客さまへご紹介。県外だけでなく県内のお客さまからも「こんなものが鳥取にあるなんて知らなかった」という声をよみました。ささやかですが、鳥取の素敵なものを知っていただく機会をつくれたのではないかと考えています。



500TORI

今回の演劇祭では、劇場だけではなく鹿野の町全体で演劇祭が楽しめて、かつ地元の人にもっと盛り上げられるような試みをいくつか実践しました。期間限定の地域通貨"TORI"もその一つです。1枚が500円として使える500TORIを11枚綴りにして5,000円で販売。観劇、鳥のカフェでの食事やセレクトショップでの購入はもちろんのこと、鹿野町内の4か所の飲食店(しかの心・鹿野往来交流館「童里夢」・夢こみら・そば道場)、鳥取中心市街地2か所のカフェ(cafe SOURCE・cafe-nee)でも使えるようになりました。販売窓口が鳥の劇場のみということもあって、どこまで利用してもらえるのか不安でしたが、用意した200組はほぼ売完。ご協力いただいた飲食店の方々からは、「例年と比べて、お客さまが多かった」「人が鹿野をぐるぐる回ってにぎやかでよかった」という声をいただきました。

鳥の演劇祭の歩み

テーマ	実施期間	会場数	上演団体	上演プログラムの来場者数	全プログラムの来場者数
第1回2008年 <からだでかんじる そのばでかんじる>	17日間	2会場	国内4団体	上演(6公演16回)1,580人	1,742人
第2回2009年 <からだでもっとかんじる そのばでもっとかんじる>	24日間	3会場	・上演=国外2団体、国内4団体 ・ショーケース=国内3団体	・上演(7公演17回)1,703人 ・ショーケース(3公演6回)306人	2,653人
第3回2010年 <ひとにさわる まちにさわる えんげきにさわる>	24日間	5会場	・上演=国外3団体、国内4団体 ・ショーケース=国内11団体	・上演(8公演17回)1,513人 ・ショーケース(11公演22回)1,027人	3,132人
第4回2011年 <豊かな歴史、自然、生活文化と世界の演劇が出会う>	17日間	5会場	国外5団体、国内10団体	上演(15公演33回)2,564人	3,454人

演劇祭を支えてくださったみなさまに感想をいただきました。

今年の演劇祭の新しい試みとしての野外特設ステージでの芝居は、島の劇場・SPAC両方の作品共にとても素晴らしかった。寒かった雨が降ったり作品鑑賞の妨げとなる要素はあるものの、野外ならではの開放感と迫力は室内の劇場では味わえないものだった。また今回鳥取市内のカフェの協力のもとに演劇祭期間中常設した「鳥のカフェ」は、単に食事の提供にとどまらず、劇場を訪れた人を快く出迎える窓口のような役割も果たしていたという気がして印象に残った。この2つは次回以降にも是非継続してもらいたい。

観客 伊藤 亘

おそらく鳥取人の1%しかその存在を知らないであろう、浦富海岸から泳いで10分のところにあるこの洞窟は、昼間ながらも真暗で視界の左右双方から光が差している。水面に漂いそれぞれを見つめると右の光は緑、左の光は青く見える。通称「青と緑の洞窟」。

とっとり体験では是非ご覧いただきたいのですが、残念ながら当日は波高で阻まれてしまいました。身近な海でありながら、時には程遠くもなる場所、まこれととりの大自然だったのであります。

とっとり体験「のぞいてみよ青いととりの海なか」案内役 鳥取BLUE 中谷英明

「とりとダンス」への新作振付のために約20日間の鹿野滞在、そして鳥の演劇祭のオープニングと体験させて頂きましたが、まず、スタッフの方々のこまやかな心配りに感動しました。そしてそこに集う面々が本当に鳥のように高く飛ぶ志と、羽のように寛容な心をもってアートの方で地域を盛り上げていこう、発信していこうという姿勢に学ばされることでも多い滞在でした。満月の日には自転車漕ぎながら「月の光」ってこんなに明るいんだ、と自然の姿も見直せた「演劇祭」でした。

monochrome circus 坂本公成

鳥たちへ
その小さな町を訪れて、私はとても驚いた。
そこには、演劇祭から来る美しい風が吹いていた。
人々は満ち足りていて、演劇や劇場の楽しみ方を知っていた。
そこは、演劇の風が吹く町だった。
dear Birds
i was so surprised when i was in a small village.
because village has beautiful wind that is from the festival.
and people looks happy and villagers knows how they enjoy the theatre.
it was village of theatre wind.
won

劇団ノトル ウォン・ヨンオ

早くから会場に来てくれた子ども達に背を押される様に読み聞かせを始めました。少人数だったのが、あつという間にすごい人数になり、熱気が伝わってくるという状況。こんなに子ども達が楽しみにしてくれていたんだと実感。ゆったりとお話聞いて欲しいのですが、熱気と気になる時間に負けて充分なことができないまま終わった…。ちょっと心残りがありますね。

読み聞かせグループ さくらんぼ



2011年9月-10月 鳥の演劇祭4

たまたまそこに居合わせたから、という関係ではなく、それぞれがそれぞれの思いを詰めこむまで。僕はたまたま引き寄せられたかと思っていたのですが、飲んだ清き水と体の相性がその連続性の必然を感じさせてくれました。実際に触ると、その一点に向かうみなさんの熱気はまた混ざっていたらと思います。

演劇祭スタッフ 尾崎 聡

今回、ボランティアスタッフとして演劇祭に参加しました。演劇祭では、様々なジャンルの作品を見せていただいたり、他のボランティアの方や劇場の方などたくさんの方と出会いがあったり、今まで自分になかったものの見方や表現にふれることができ、とてもワクワクした毎日過ごすことができました。劇場に来られる人も、お客さん、スタッフさんも誰もがいきいきとした表情で、とても心が明るくなる空間だったと思います。こんな素晴らしい体験ができ本当に良かったです。ありがとうございました。

ボランティア T-S

小さな日本食レストランで出された巨大な岩ガキと、それを出してくれた素敵な女性。砂の丘、そして月。「ウサギが見えますか?」ウサギ?(ヨーロッパでは)月には女の人の微笑む顔が見えると言われています。でも、ウサギが見えた!

鹿野の町。
乾いたカエル。アスファルトの道に並ぶ古い家々。城跡とそれを守る迷路のような路地。夜、家々にともる明かり、ほぼ一週間で建てられた木の家。
古い学校にある鳥の劇場。
新しい学校でのワークショップ。女の子も男の子も、ヨーロッパでは聞いたことのないお化けを演じてくれた。大きな手が波となって砂浜を歩く小さな手を隠してしまうこと。
町の人々、鳥の劇場のメンバー、学校の子どもたちと先生、新聞記者の人たち、手芸品の店で出会った三人の女性、ほかの参加者たち(フィンランドの人形劇の出演者、SPACの友人たち)、観客一雨の中でも(客席)にとどまっていた、そして私たちの上演を観に来て花束を残していったレストランの素敵な女性。
彼女にお礼を言うことができなかった。彼女は、日本の人々が持つやさしさと慎み深さとともに立ち去ってしまったから。

菅さんに感謝。

カーン 国立演劇センター エレナ・ボスコ

とても楽しかった鳥の演劇祭4
今でも鹿野と鳥の演劇祭を思い出して、知らぬ間に笑顔になります。
公演時間を待っていた観客の笑顔も、子供の日に机にうつ伏せて眠っていた子供の幸せそうな笑顔も、見えない所でいつも手伝ってくれたボランティアさんの笑顔も、毎朝「おはようございます」と声を掛けてくれた鹿野の人達の笑顔も、そして真夜中まで頑張った鳥の劇場の皆さんの笑顔も、次々思い出されて、私は今宵も夢の中で鹿野を歩きます。
また会いましょうの時まで皆さん、お元気で!

演劇祭スタッフ チャン・ウンジン

劇場で作品を共有した後、多くの観客にそこら離れたくないという雰囲気があるのを感じました。アーティストや観客は、会場のまわりやカフェに残り、新しい風景や人に出会っています。そして、彼らはさらに周辺の町も探索しています。そのすれ違いの「こんにちは!」や「Hello!!!」の声は、住民の皆さんの声と一緒に、町に響き合っています。そうやって人と人が自然に近づき、溶け合っていく風景にたくさん出会いました。つまり、劇場という場に作品が投げ込まれることで、感動と出会いの波紋が起こり、あらゆる人を介してどんどん町へ広がっているんです。わたしたちの劇団も、このような作用のなかで作品を発表する体験は貴重であり、とても幸せでした。

のこせ劇場 市原幹也

「来る」のではない、こは「帰る」場所なのだ、と感じた。なぜだか強く感じた。わたしに生年月日と本籍と現住所があるように、わたしたちの作品にも本籍があるはずだ。だとしたらこは、今回の作品「土地/自傳」の本籍なのか?それはわたしにもまだわからない。きっとこの作品がこれから長い旅を続ける中で、それはわかるのかもしれない。けれど、とにかく、「土地/自傳」はここに「来た」のではない。「帰った」のだ。——そんな気がした。あれから、そしてそこから遠く離れた今、あらためて、迎えてくださったすべての方にただ深く感謝するのみである。本当にありがとうございました。

劇団こぶ劇場 永山智行

演劇祭の一ヶ月前の積古の段階から参加させてもらって、芝居作りはもちろん、それ以外にも自分にとって様々な新しい体験をし、また、演劇祭への準備等着々進めていく中で、一から組み上がっていくさまに立ち会えたのがとても幸せでした。
実際の演劇祭は、飛び込むまでは想像もつかないことが盛りたくさんで、とても魅力的で、刺激的で、とても疲れた(笑)演劇祭ではありましたが、演じ手として、スタッフとして参加できたことをとても誇りに思っております。疲れた甲斐もあるってことです。また、是非!!

三条会 榎原 毅(剣を鍛える話)出演

僕は演劇祭が終わるまでの期間で研修のような形でお世話になったのですが、準備を始めてから毎日ほぼ充実した時間を過ごせたと思います。いろいろ不慣れな事も予想していたので、自分に出来そうな事の中で結果を出す事に集中しました。スムーズに進まない事もありましたし、体力的にキツいこともありましたが、自分を試す機会でもありましたので貴重な経験だったと思います。こんな遠い所へ観に来て下さった観客の皆さんは、とても好意的な方が多かった様に思いました。なにかしら演劇祭に期待をして頂いてははずだからと思って、がんばれた気がします。いろんな人に出会えたのも楽しかったです。ありがとうございました。

演劇祭スタッフ 轟中 聡



観客のみなさん、地域のみなさん、出演者のみなさん、ありがとうございました。

撮影:水本俊也・中島伸二

2011年10月

- (土) 鳥の演劇祭4
- (日) 鳥の演劇祭4、「トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取」鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS中間発表「吹奏楽でジャズの世界を感じてみよう 小さな編成だからできること」(講師:森下 滋)
- (月)
- (火) [鳥取県教委との連携]鳥取県立皆生養護学校WS
- (水) [出張ミニ上演]「紙風船」[どろぼう学校] (琴浦町立東伯中学校)
- (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)、「家族・職場・ご近所演劇お助けプロジェクト」大学生企画のお手伝い
- (金) [家族・職場・ご近所演劇お助けプロジェクト]大学生企画のお手伝い
- (土) [家族・職場・ご近所演劇お助けプロジェクト]大学生企画のお手伝い
- (日)
- (月) [講演・客演など]第33回鳥取市交響楽団定期演奏会(鳥取市市民会館)演奏(武中)
- (火) [鳥取県教委との連携]伯耆町立岸本中学校WS、「ワークショップなど」鳥取県立皆生養護学校学習発表会練習
- (水) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)、「読み聞かせ」読み聞かせグループさくらんぼ「読み聞かせ訪問:鳥取市立鹿野幼児センターこじか園」(葛岡)
- (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)
- (金) [県外上演]「いかけこむ」紙風船(岡山県天神山文化プラザ)
- (土) 「読み聞かせ」読み聞かせグループさくらんぼ「10月のおはなし会(鳥取市立鹿野小学校)」(葛岡)
- (日)
- (月) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、「ワークショップなど」鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)、「ワークショップなど」鹿野小学校音楽会、「ワークショップなど」鳥取県立鳥取緑島高等学校遠足来場者対象WS
- (火) [鳥取県教委との連携]大山町立中山中学校WS、「トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取」日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS(講師:高増佳子・米間直樹)
- (水) [ワークショップなど]八頭町立船岡中学校英語劇の演技指導、「ワークショップなど」鳥取市立逢坂小学校全校表現「亀井さんのゆめ わたしたちの夢2011」演技指導、「講演・客演など」米子市教育文化事業団職員研修会講演(中島)
- (木) [トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]日南町立日南小学校「総合的な学習の時間」4年生対象WS成果発表「青空スーフカフェ」(講師:高増佳子・米間直樹)、鹿野わつたな祭りで読み聞かせとカフェ運営
- (日) [出張ミニ上演]「三びきのやぎのらがらどん」及びWS(菅頭町森のようちえん「まるたんぼう」主催「まるたんぼうまつり」)
- (月) [ワークショップなど]鳥取市立逢坂小学校全校表現「亀井さんのゆめ わたしたちの夢2011」演技指導
- (火) [鳥取県教委との連携]鳥取市立湖東中学校WS
- (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、「ワークショップなど」鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)、「ワークショップなど」八頭町立船岡中学校英語劇の演技指導
- (木) [ワークショップなど]鳥取市立逢坂小学校全校表現「亀井さんのゆめ わたしたちの夢2011」演技指導。[トヨタ子どもとアーティストの出会いin鳥取]日南小学校WS振り返り(長村)
- (金) [鳥取県教委との連携]倉吉市鴨川中学校WS、「写真展」日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)
- (土) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)。「講演・客演など」財団法人文化・芸術による福武地域振興財団平成23年度助成団体活動成果発表会:発表(齋藤啓)、「演劇祭」鳥の演劇祭の未来を語る座談会
- (日) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)。「見学・視察」公益社団法人関西経済連合会加盟企業33人、「見学・視察」地域づくりバス(鳥取県地域づくりセンター)15人、「講演・客演など」財団法人文化・芸術による福武地域振興財団平成23年度助成団体活動成果発表会:発表(齋藤啓)、「出張ミニ上演」[どろぼう学校](鳥取県立鹿野からみ園・第二からみ園23年度合同文化祭)
- (月)

出張上演・ワークショップ
特に秋ごろ、幼稚園や小中学校や福祉施設などいろいろなところから、出張上演やワークショップや学習発表会の手伝いなどの依頼が続きます。鳥の劇場を知らない、まだ観たことないという人や子どもたちとの新しい出会いが励みになります。

写真展:日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12

写真プロジェクト「日本に向けられたヨーロッパ人の眼-ジャパンツウデイ」は、日本とヨーロッパの文化交流を目的に、EJ・ジャパンフェスト日本委員会により1999年から毎年実施されています。「vol.12」では鳥取が滞在地に選ばれ、3人の写真家が2010年3月から約1か月かけて県内各地を撮りました。そのできあがった作品を紹介する写真展を鳥取県立博物館で行いました。3人の写真家も駆けつけ、再会を喜びつつ、キャラクターや観客との交流に動き回りました。アンドレアスさんと鳥取の写真家池本喜巳さんによるスペシャルトークには130人の方が来場、盛り上がりました。



11月

- (火) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)、「出張ミニ上演」[三びきのやぎのらがらどん]及びWS(境港市/美哉幼稚園)
- (水) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)、「ワークショップなど」鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、「講演・客演など」鳥取県立鳥取盲学校コンサート「音の絵本1-モチモチの木」朗読出演(齊藤頼陽)
- (木) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)
- (金) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)。「鳥取県教委との連携」鳥取市立高草中学校WS、「ワークショップなど」鳥取市立逢坂小学校全校表現「亀井さんのゆめ わたしたちの夢2011」演技指導
- (土) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)
- (日) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)。「出張ミニ上演」[どろぼう学校]及びWS(鳥取市立中ノ郷小学校PTA文化厚生委員会)
- (月) [写真展]日本に向けられたヨーロッパ人の眼 ジャパンツウデイvol.12(鳥取県立博物館)、「ワークショップなど」鳥取市立逢坂小学校全校表現「亀井さんのゆめ わたしたちの夢2011」演技指導
- (火) [鳥取県教委との連携]倉吉市立久米中学校WS
- (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、「ワークショップなど」鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- (木) [ワークショップなど]鳥取市立逢坂小学校全校表現「亀井さんのゆめ わたしたちの夢2011」演技指導、「読み聞かせ」読み聞かせグループさくらんぼ「読み聞かせ訪問:鳥取市立鹿野幼児センターこじか園」(齊藤頼陽・葛岡・中川・村上 里美)
- (金) [ワークショップなど]鳥取市立逢坂小学校全校表現「亀井さんのゆめ わたしたちの夢2011」演技指導
- (土) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校WS「講演(中島)」
- (日) [見学・視察]正連寺婦人会
- (月) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野小学校6年生対象WS(中島)
- (火) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野小学校6年生対象WS(中島)、「ワークショップなど」鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- (水) [講演・客演など]平成23年度新温泉町立高齢者大学「とちのみ学園」一般教養講座:講演「地域の未来のために、演劇にできること」(中島)、「ワークショップなど」鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- (木) [滞在製作]やなぎみわ-鳥の劇場共同製作
- (金) [滞在製作]やなぎみわ-鳥の劇場共同製作。「講演・客演など」アサヒビール芸術文化財団2011年度助成報告会:発表(齋藤啓)
- (土) [滞在製作]やなぎみわ-鳥の劇場共同製作。「講演・客演など」景観まちづくり大会(いんしゅう鹿野まちづくり協議会・鳥取県受託事業)分科会参加
- (日)
- (月) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「アーティストリゾート」アーティストリゾート及びアーティストに係る意見交換(中島)
- (火) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「ワークショップなど」美保学園入園者対象WS
- (水) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「考えるプログラム」映画を見て、社会を考えよう-「六ヶ所村ラプソディー」上映会-
- (木) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム
- (金) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「見学・視察」中国・四国地区県都市広報主管者協議会6人
- (土) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「講演・客演など」第1回鳥取県障がい者芸術・文化祭:パレルト(中島)
- (日) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「読み聞かせ」読み聞かせグループさくらんぼ「11月のおはなし会(鳥取市立鹿野小学校)」(齊藤頼陽)
- (月) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム
- (火) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「連携」アートNPOに適した人材育成についての意見交換(鳥取大学)(中島)
- (水) [滞在製作]踊りに行け!!青木チーム、「ワークショップなど」鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- (木)

映画を見て、社会を考えよう-「六ヶ所村ラプソディー」上映会

「映画を見て、社会を考えよう」という企画の第1弾。今回は原発を扱った映画、あの地震からずっと私たちの心の中にあって、過去への振り返りと未来に向けての選択を迫っているこの問題について、深く考える機会になりました。
上映の合間に特別企画「青谷の原発のことを聞いてみよう」も行いました。1980年代、劇場近くの青谷町という町に、原発建設の話があったそうです。地元の方の井上理さんにお越しいただき、始まりから中止までの一連のいきさつをお話いただきました。2012年度も、いつか映画上映会を行えたらと思っています。



- 1 (木) [滞在製作]踊りに行くぜ!!青木チーム
- 2 (金) [滞在製作]踊りに行くぜ!!青木チーム
- 3 (土) [滞在製作]踊りに行くぜ!!青木チーム
- 4 (日) [滞在製作]踊りに行くぜ!!青木チームショーイング
- 5 (月)
- 6 (火) [講演・客演など]八頭町立船岡中学校生き方講座:講演(山本)
- 7 (水) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)、[ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- 8 (木)
- 9 (金)
- 10 (土)
- 11 (日)
- 12 (月)
- 13 (火) [ワークショップなど]鳥取市立遷喬小学校読書祭にて「森は生きている」一部上演
- 14 (水) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 15 (木) [見学・視察]中四国ブロックアートマネジメント研修会(社団法人全国公立文化施設協会/中四国地区公立文化施設協議会/鳥取市市民会館)67人
- 16 (金) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 17 (土) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 18 (日) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 19 (月)
- 20 (火) [見学・視察]久松小学校・鹿野小学校交流会参加児童60人
- 21 (水) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 22 (木) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 23 (金) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 24 (土) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 25 (日) [創るプログラム]クリスマス特別上演「森は生きている」
- 26 (月)
- 27 (火)
- 28 (水)
- 29 (木)
- 30 (金)
- 31 (土)

クリスマス特別上演「森は生きている」



今年のクリスマスには『セールスマンの死』を上演しました。すると「何でこんな寒い時期に、クリスマスに、こんな暗い話を」との声もいただきました。そこで「じゃあ今年はこちらでもかたにぎやかな芝居」と狙ってつくった今年のクリスマス上演「森は生きている」。オリジナル音楽もふんだんに盛り込まれ、大下志穂さんによる舞台美術、イルミネーションなどクリスマスらしい演出も功を奏し、家族連れやカップルや初めて来場された方も多く、楽しんでいただきました。

地元新聞にも「これまでの鳥の劇場の難しい、暗いというイメージを払拭。」と取り上げられました!



書道家の柴山抱海さんから思わぬプレゼント!

「応援してるよ、ちよっと書いてみたから。」と味のある作品を1点。さらに「鳥取」をテーマに開かれた書道展に出品された新作「鳥の劇場」もいただけることに!劇場でぜひ現物をご覧ください。



「およそ七〇年前、鳥取でも戦争があった。戦争を知らないわたしは、その記憶をわたしの血肉にできるだろうか。」

鳥取という小さな場所で戦争という大きな力が、一人ひとりの人の生活をどのように歪めたか。歴史年表のような遠からの目線だけでなく、虫メガネで見るとたどり、戦争を知らない世代が自らの体験として戦争を捉え直そうという試み。

3回目となる今回の上演では、劇団ティダから、若い俳優のキム・スンジュンさんが参加。韓国の人の目線も取り込むことで、より多角的な作品となり、芝居と実話が響き合う不思議なリアリティを体験していただきました。



- 1 (木) [創るプログラム]「およそ七〇年前、鳥取でも戦争があった。戦争を知らないわたしは、その記憶をわたしの血肉にできるだろうか。」
- 2 (木) 大雪のため休演
- 3 (金) [創るプログラム]「およそ七〇年前、鳥取でも戦争があった。戦争を知らないわたしは、その記憶をわたしの血肉にできるだろうか。」
- 4 (土) [創るプログラム]「およそ七〇年前、鳥取でも戦争があった。戦争を知らないわたしは、その記憶をわたしの血肉にできるだろうか。」
- 5 (日) [創るプログラム]「およそ七〇年前、鳥取でも戦争があった。戦争を知らないわたしは、その記憶をわたしの血肉にできるだろうか。」
- 6 (月) [ワークショップなど]鳥取県立鳥取緑風高等学校演劇クラブ指導(中島)
- 7 (火)
- 8 (水) [見学・視察]総務省定住自立圏形成に向けた創造的人材の定住・交流促進事例調査、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 9 (木)
- 10 (金)
- 11 (土) [出張ミニ上演]『人形の家』リーディングWS及び『紙風船』上演(平成23年度鳥取市鹿野町人権教育に取組む町民集会)
- 12 (日) [トヨタ子どもアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:武中)
- 13 (月) [連携]TPAM視察(齋藤啓)、[滞在製作]とりとダンスリハーサル
- 14 (火) [連携]TPAM視察(齋藤啓)、[三代演劇]「結婚申し込み」読み合わせ、[滞在製作]とりとダンスリハーサル
- 15 (水) [連携]TPAM視察(齋藤啓)、[ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)、[滞在製作]とりとダンスリハーサル
- 16 (木) [連携]TPAM視察(齋藤啓)
- 17 (金)
- 18 (土) FM鳥取公開生放送～Around The Tottori～「Live From 鳥の劇場」
- 19 (日) [試みるプログラム]鷲峰讃歌II
- 20 (月) 鳥の劇場運営委員会、[滞在製作]とりとダンスリハーサル
- 21 (火) [出張ミニ上演]「三びきのやぎのらががどん」及びWS(米子市/みずほ幼稚園)、[滞在製作]とりとダンスリハーサル
- 22 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 23 (木)
- 24 (金) [講演・客演など]阪神地区公立文化施設協議会平成23年度第1回研修会:講演(中島)
- 25 (土) [読み聞かせ]読み聞かせグループさくらんぼ「2月のおはなし会(鳥取市立鹿野小学校)」(齊藤頼陽・葛岡)
- 26 (日) [招くプログラム]踊りに行くぜ!!vol.2鳥取公演、[講演・客演など]いんしゅう鹿野まちづくり会第4回「地域の芸術を育てる、活かす」:発表(中島)
- 27 (月) [連携]「坂本公成コンタクトインプロWS」を鳥の劇場俳優が受講
- 28 (火) [トヨタ子どもアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:武中)
- 29 (水) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)

- 1 (木) [トヨタ子どもアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:武中)
- 2 (金)
- 3 (土)
- 4 (日) [ワークショップなど]鳥取市鹿野町勝谷地区公民館平成23年度「勝谷を考える日」参加者対象WS、[滞在製作]とりとダンスリハーサル
- 5 (月) [アーティストリゾート]アーティストリゾート事業に向けての意見交換:中島
- 6 (火) [ワークショップなど]平成23年度鳥取県改良普及職員協議会中部地区組織強化研修会対象WS
- 7 (水) 国際交流基金「地球市民賞」授賞式(中島・齊藤啓)、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野中学校「総合的な学習の時間(演劇)」2年生対象WS(齊藤頼陽)
- 8 (木) [講演・客演など]財団法人地域創造平成23年度文化・芸術を活用した地域活性化に関する調査研究第5回事例検討会(中島)
- 9 (金)
- 10 (土) [トヨタ子どもアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:武中)、[ワークショップなど]鳥取市若者定住促進事業「鹿コンまちコン鹿野」参加者対象WS、[連携]踊りに行くぜ!!vol.2京都公演(NPO法人JCDN主催)を視察
- 11 (日)
- 12 (月) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野小学校1・2年生対象読み聞かせ教室
- 13 (火) [見学・視察]NPO・ボランティア団体見学バスツアー(NPO法人未来主催)12人、[ワークショップなど]鳥取市立鹿野小学校2・3年生対象読み聞かせ教室
- 14 (水) [ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- 15 (木) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野小学校1・2年生対象読み聞かせ教室
- 16 (金) [ワークショップなど]鳥取市立鹿野小学校1・3年生対象読み聞かせ教室
- 17 (土) [トヨタ子どもアーティストの出会いin鳥取]鳥取敬愛高等学校吹奏楽部対象WS(講師:武中)
- 18 (日) [見学・視察]鳥取市立鹿野町中央公民館主催鳥の劇場見学会「鳥の劇場をのぞいてみよう」
- 19 (月)
- 20 (火) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」
- 21 (水) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」、[ワークショップなど]鳥取敬愛高等学校第2学年「鳥の劇場による表現活動」(中島・齊藤頼陽)
- 22 (木) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」、[ワークショップなど]鳥取県立鹿野からみ園-第二からみ園入園者対象WS
- 23 (金) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」
- 24 (土) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」
- 25 (日) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」
- 26 (月)
- 27 (火) [ワークショップなど]美保学園入園者対象WS
- 28 (水) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」
- 29 (木) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」
- 30 (金) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」
- 31 (土) [創るプログラム]「赤いろそくと人魚」

鷲峰讃歌II



劇場近くにそびえる鷲峰山をテーマに、作曲家・武中淳彦がつくったオリジナル楽曲による音楽会。

「山争い」「門口の般若の面」「蟹と猿の尻毛」「土つぶて」「雲と山」「てっぺんに届いた」と題された大小6つの音楽による物語は、役者の語りと器楽が絡みあって、生き生きとした独特の劇的空間をつくりあげました。

鹿野、鳥の劇場からしか生まれなかった山への讃歌。「鷲峰山が見えた」との感激の声もいただきました。

作曲:武中淳彦
指揮:新倉健
ヴァイオリン:辺見康孝/ヴィオラ:原田友一/チェロ:大西泰徳
コントラバス:三井脩平/ピアノ:中橋芳恵/ソプラノ:寺内智子/パーカッション:本郷良枝/鳥取市立鹿野中学校吹奏楽部

地球市民賞受賞

「国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、1985年より日本各地において、市民の方々の主体的な発意により、国際的な文化交流活動を通じて、豊かで活力のある社会を築いていこうとする、先導的で優れた活動を行っている国内を拠点とする非営利の団体に対し、「国際交流基金地球市民賞」を授賞しています。」

という賞です。たいへん名誉ある賞です。

いつもご支援いただいているみなさまに、厚くお礼を申し上げます。

踊りに行くぜ!!vol.2鳥取公演



「踊りに行くぜ!!」が、【ダンス作品をつくるプロジェクト】として生まれ変わって2年目。今年も3作品が鳥の劇場で上演されました。さらに「とりとダンス」の作品は3月に京都でも巡回上演。7ページのコラムもご参照ください。

「4...soku」
作・演出:青木尚哉 / 音楽:熊地勇太 / 美術:カミキタカ / 振付・出演:山田勇気 青木尚哉 / 衣装:齊藤絵美
「uRu-gu!e!!」
作・演出:伊東歌織 / 振付・出演:KEKE 畑菜穂 伊東歌織 / 美術:山下昇平 / 衣装:加藤志穂 / アドバイザー:山下彩子 / 音響効果:大島亮
「それから六千五百年地球は寝ているだろう」
作・振付・演出:坂本公成 / 振付アシスタント:森裕子(monochrome circus)
振付・出演:とりとダンス(岡田真一 川崎美保 佐々木タミー 鈴木登江 竹田健作 中垣直久 西浦幹茂 原朝子 松田洋子 村上弘樹)(11年9月鳥の演劇祭4にて初演)

「赤いろそくと人魚」

“人魚は、南の方の海にばかりすんでいるわけではありません。北の海にもすんでいたのです。”

日本の童話文学の先駆者、小川未明の名作の舞台化です。新潟で育った作者は、荒れる日本海に人魚を想像しました。アンデルセンの「人魚姫」とは異なる日本的な陰影と抒情にあふれた幻想的な舞台でした。

8月に「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」でも上演します。

